

業務用塩素系除菌剤

ルーベ100 - ハンドレット -

除菌

抜群の除菌能力

特長

長期塩素持続型

安定

固形状で安定

安全

高い安全性



 ルックス

除菌

ルーベ100の除菌成分はトリクロロイソシアヌル酸です。通常食品工場で使用されている次亜塩素酸カルシウム(さらし粉)とは、大きく異なります。

トリクロロイソシアヌル酸

→ 除菌能力/高い
安全性/弱酸性
腐食性/軽微

さらし粉での結果



次亜塩素酸カルシウム

→ 除菌能力/高い
安全性/アルカリ性
カルシウム等の付着
腐食性/鉄に対して
腐食性有り

ルーベ100での結果



★ルーベ100は、水20ℓに対して1錠(30g)有効塩素濃度、約200ppmです。

◎1週間後の溶解画像です。

次亜塩素酸カルシウム(さらし粉)は、水に溶解してもカルシウムの成分(CaCo3)は溶けずに、水槽や配管内部に付着物となりメンテナンスが必要となります。ルーベ100は、排水ラインまで除菌できます。

除菌

ルーベ100は、長靴の除菌槽に投入するだけで持続的に塩素が補充されます。特に、土壌菌対策には抜群の効果を期待できます。錠剤はすべて水に溶解します。

ルーベ100のプログラム

ルーベ
100を投入

除菌
持続型

ルーベ100を使用した際の除菌工程です。↑

長靴槽に入れておくだけで、数週間長持ちして凄く経済的な薬剤です。

作業時間の短縮 **水道光熱費の削減**にもなり、誤った使用作業の防止に繋がります。

また、トリクロロイソシアヌル酸の成分は、芽胞菌を含むほとんどの細菌に抜群の除菌効果を発揮します。

安定

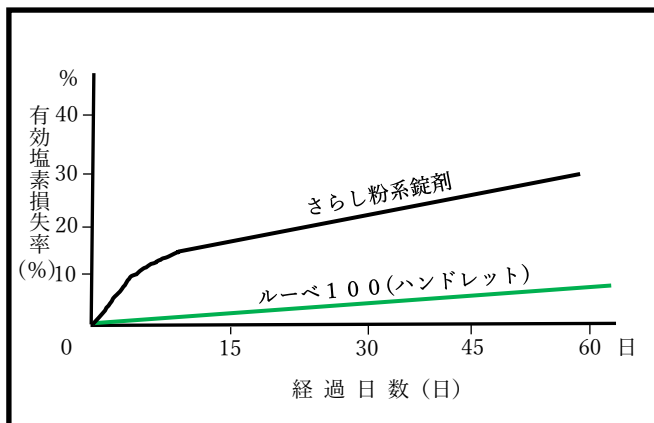
ルーベ100は錠剤タイプなので、3年間保管してもほぼ99%除菌能力は失われません。また錠剤タイプは液体タイプに比べコンパクトになる為、保管場所に困りません。

細菌への特長

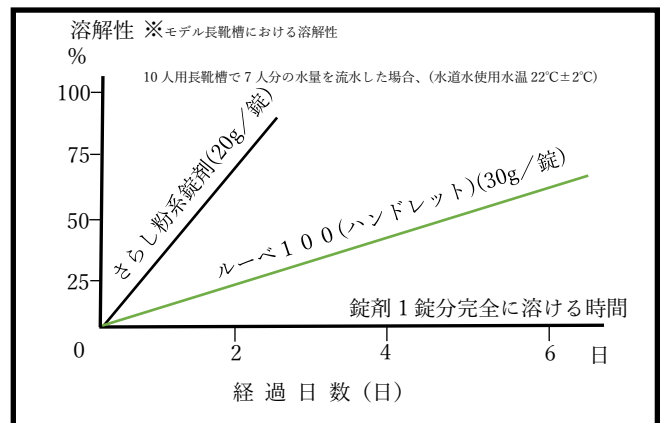


- ◎枯草菌、ウェルシュ菌、セレウス菌、ボツリヌス菌、その他
- ※給排水設備：藻・スライム・黒カビ（レジオネラ属菌）

◎長靴槽での安定試験例



◎長靴槽での溶解性試験例



LD ₅₀ マウス経口	
ルーベ100	406 mg/kg
食塩(塩化ナトリウム)	2,980 mg/kg
次亜塩素酸カルシウム	790 mg/kg

LD₅₀とは一定の動物の50%を死亡させるだけの薬剤の量その動物の体重1kg辺りの薬剤量(mg)で表したものです。

★用途：食品工場・畜産・プラント工場・造船所
クリーニングタワー・消毒ゲート(タイヤ)・浄化槽

仕 様 書

ル ー ベ 1 0 0

広島県福山市大門町4丁目19番18号

TEL.084-941-5118 FAX.084-941-5119

株式会社 ルックス

用 途

冷却塔、長靴洗浄層、床、側溝の【除菌】、【脱臭】

成 分

トリクロロイソシアヌル酸、その他

特 徴

- ◎水に溶解する事で除菌力に優れた次亜塩素酸を発生し、芽胞菌等幅広い細菌に対して効力を発揮します。
- ◎水中でも錠剤が崩壊せず、溶け残りがありません。
- ◎藻やスライム、黒カビ、ウイルスを防止できます。

性 状

外 観	約30gの白色錠剤
液 性	弱酸性(0.3%水溶液)
溶 解 度	1%(25℃)

使 用 方 法

- ★水槽に使用する場合は、水量約20リットルにつき1錠投入し、通常は水だけを入れ替え錠剤が溶けてなくなったら追加投入して下さい。
- ★床や側溝に使用する際は、網状の袋等に入れて設置して下さい。
- ★冷却塔に使用する場合は、1m³あたり2条専用ネット入れて、使用してください。

使用上の注意

- 酸性系洗浄剤や酸素系漂白剤と混ぜると有毒な塩素ガスが発生します。
- 金属に接触させて設置したり、溶解液が金属についた状態で放置すると腐食されます。
- 食品の除菌には使用しないでください。
- 皮膚や粘膜に付着した場合は、直に水で洗い流してください。(15~30分間)
- 違和感がある場合は、医師の診断を受けること。
- 他の薬品や洗浄剤と混ぜないでください。
- 可燃性のものを避け、密封して冷暗所に保管して下さい。
- 使用中に異常を感じた場合は、直ちに使用を中止してください。

ルーベ100の有効なウイルス及び細菌一覧表

1. ウイルス

	ウイルス名	主な動物の疾病
外膜の有るウイルス	コロナウイルス	家禽（鶏、アヒル、七面鳥）気管支炎（I B）、豚腸炎（T G E）、犬ウイルス性腸炎、猫伝染性腹膜炎
	ヘルペスウイルス	牛伝染性鼻気管炎（I B R）、豚オーエスキー病、犬、猫伝染性鼻気管支炎
	イリドウイルス	アフリカ豚コレラ（A S F）
	オルトミクソウイルス	鳥インフルエンザウイルス、豚、馬インフルエンザ
	パラミクソウイルス	ニューカッスル病（トリ肺脳炎）、犬ジステンパー
	レトロウイルス	鶏白血病、馬伝染性貧血病、猫後天性免疫不全（F I V）
	ラブドウイルス	豚水泡性口内炎、狂犬病
	トガウイルス	豚コレラ（P R R S）、牛ウイルス性下痢症、サル黄熱病、ダニ媒介性脳炎
	アレナウイルス	無症候宿主、アメリカ出血熱群やラッサ熱の原因
ブニavirus	牛、ヤギ、ヒツジ（リフトバレー熱）、げっ歯類（腎症候性出血熱、ハンタンウイルスの宿主）	
無いウイルス	アデノウイルス	鶏産卵低下症候群、犬伝染性肝炎、ハムスター腫瘍ウイルス
	ビルナウイルス	ニワトリ伝染性ファブリキウス嚢病（ガンボロ病）
	パルボウイルス	牛、豚、犬パルボウイルス感染症（胃腸炎）、猫汎白血球減少病
	ピコルナウイルス	豚、牛口蹄疫、ブタ水疱病、（皮膚、粘膜症）、豚テツツェン病、無菌性髄膜炎（中枢神経感染症）
	ポックスウイルス	鶏、豚痘瘡、偽牛痘
	レオウイルス	鶏ウイルス性関節炎、豚、牛嘔吐下痢症（ロタウイルス）
	パポバウイルス	ウサギ、ハムスター、ヒツジ、牛、シカ、馬、犬、猿乳頭腫
カリシウイルス	ブタ水疱性発疹、ネコ呼吸器官障害	

2. 細菌

細菌名		細菌による主な疾病
グラム陽性菌	Bacillus anthracis	炭疽菌 牛、馬、ヒツジ等の草食性家畜、皮膚炭疽、肺炭疽、腸炭疽（伝染病）
	Bacillus cereus	セレウス菌 溶血性毒素を出す、（食中毒菌）
	Clostridium perfringens	クロストリジウム 動物の壊死性腸炎
	Enterococcus	腸球菌 病原性は低い、稀に心内膜炎、尿路感染症、食中毒を起こす
	Listeria	リステリア 免疫力の低い動物に髄膜炎や敗血症を起こす
	Staphylococcus	ブドウ球菌 ブドウ球菌性肺炎、敗血症、骨髄炎、腸炎を起こす
	Leptospira	レプトスピラ 鶏、犬等で腎臓、肝臓、神経系を冒す
グラム陰性菌	Bordetella	ボルデテラ菌 犬の伝染性気管支炎、（ケンネルコフ）
	Brucella	ブルセラ菌 家畜や動物の流産、精巣炎を主徴とする感染症
	Campylobacter	カンピロバクター 鶏、豚等の動物に腸炎を起こす
	Escherichia coli	大腸菌 動物に胃腸炎を起こす食中毒菌
	Legionella pneumophila	レジオネラ菌 全身倦怠感、頭痛、食欲不振、筋肉痛、呼吸困難、幻覚、手足の震えを起こす
	Klebsiella	クレブシエラ 豚鼻炎等、動物の気管系に炎症を起こす
	Mycobacterium	マイコバクテリウム 牛、ヒツジに慢性下痢症を起こす、ラット、マウス、ハムスターに肉芽を起こす
	Mycoplasma	マイコプラズマ 牛肺疫、ヤギ伝染性脳膜肺炎、豚流行性肺炎等
	Pasteurella	パスツレラ 牛出血性敗血症、家畜コレラ、動物の肺炎や化膿の原因菌
	Proteus	プロテウス 稀に尿路感染、創傷感染を起こす
	Pseudomonas aeruginosa	緑膿菌 免疫機能が低下した際に、敗血症、肺炎を起こす
	Salmonella choleraesuis	サルモネラ ブタのチフス症
	Salmonella enteritidis	サルモネラ 急性胃腸炎
	Salmonella typhi	チフス菌 胃腸症状、肝、脾、骨髄等に全身感染症を起こす
	Shigella sonnei	赤痢菌 細菌性赤痢と急性胃腸炎の原因
真菌	Aspergillus	アスペルギルス 敗、気管支、脳腔、皮膚、外耳、副鼻腔、眼に壊死性、肉芽腫性の病変を形成
	Candida albicans	カンジダ 皮膚、粘膜カンジダ症
	Fusarium	赤カビ 牛肺気腫、毒素による中毒
	Microsporum canis	小孢子菌 ネコ、犬、サル等に頭部、体部白癬を起こす
	Trichophyton	白癬菌 家畜、ペットの皮膚真菌症